

くらしたい国、富山

とやまファン  
倶楽部

No.25

2011



CONTENTS

|                    |    |
|--------------------|----|
| リレーエッセイ 24 / 吉田 忠裕 | 2P |
| 第16回とやまファン倶楽部会員交流会 | 3P |
| とやま賞               | 4P |
| 「夢の卵」育成事業          | 5P |
| 会員交流広場             | 6P |
| 富山県からのお知らせ         | 7P |

## 富山県民よ、企業よ、 皆、日本一を目指そうではないか

吉田 忠裕さん



### プロフィール

吉田 忠裕(よした ただひる)  
YKK株式会社 代表取締役会長CEO  
YKK AP株式会社 代表取締役会長CEO  
1947年、YKK創業者である故・吉田忠雄氏の長男として生まれる。  
1969年、慶應義塾大学法学部卒業。  
72年ノースウエスタン大学経営大学院(ケロッグ)にてMBA(経営学修士)を取得。  
同年、YKK株式会社(旧・吉田工業株式会社)入社。企画室長、ファスナー事業本部長などを経て、80年専務取締役、85年取締役副社長。90年にYKK AP株式会社(旧・YKKアーキテクチュラル プロダクツ株式会社)の社長を兼任。93年、YKK株式会社(旧・吉田工業株式会社)代表取締役社長に就任。2011年6月YKK株式会社 代表取締役会長CEO、YKK AP株式会社 代表取締役会長CEOに就任。現在に至る。

気が必要ではないだろうか。

我が古里 黒部には日本一の生産を誇る企業が数社ある。トヨックス(ホース)、北星ゴム(三角コーン)、東洋ゼンマイ(ゼンマイ)、私達YKKもその一つと思うが、これら企業に共通する点は、物との運命的な出会いと共に県外マーケットへの普及を目指して激しい商品改良や製造技術改革に戦い続けた点にある。富山一を指さず、もっと大きな世界を見て努力した結果と言える。更に分野を拡げてみると、古くは「家庭薬配置業」のようなマーケティングモデルに、または「定置網」のような新装置開発にも及ぶ。そして芸術や芸能を含めた文化的営みを富山全域で観ると、何と日本一や日本を代表するものが多いことが。

昔から言われることだが、とかく、富山県人は外に出たがらす、外の人を入れたがらない傾向がある。人口転出率は47都道府県中45位で、転入率も44位、県内移動率は最下位だ。異物を好まず、また、自身

変わり者という意味で、堅実で真面目な働き者の富山県人にとっては変人扱いする場合の言葉である。しかし、良い意味で使われる場合は常に何かを求め続け、新しいものを創造する人を云う。そんな人の想いと行動は一つ所に納まらず外に飛び出していくことになる。芸術であれば伝統に満足せず前衛や異端にまで及ぶ。産業や経済では創造と広域への挑戦となる。富山県を代表する芸術家や文化人、経営者の多くが、この「みやあらくもん」であるのだと私は思う。そして、これからの富山県の発展のためには、より多くの「みやあらくもん」を輩出する必要があると思うのだ。

も異物にはなりたくないと思つている節がある。また、富山県は持ち家率が全国1位で、延面積や居室数も全国1位である。家屋に強い思い入れがあり、家屋を大切にし、その家屋で費やす時間も大切にしている県民性であることは、電灯使用量の多さや新聞契約率、衛星放送受信率が高いことから理解できる。居心地の良い家(家庭)から外に出たくない気持ちもまた良くわかる。

とても単純に聞こえるかもしれないが、「目標」を与えてはどうだろうか。それも、「日本一」という判りやすい目標はどうだろうか。企業ならとかく生産量や売上をイメージしながだが、これからの時代は様々な「質」や「スピード」等の異なる評価軸が山ほどあり、そんな「日本一」を。個人には感性や技能の「日本一」という目標を持たせてはどうだろうか。今やインターネットの時代である。居ながらにして日本や世界の情報リアルタイムに入手出来る。安心して暮せる家の中で、目標に向かう人々の熱い活動を想像したい。生まれ持った才能もあるが多くの時間を掛けた訓練のたまものであるなら出来る限り若い頃から訓練を重ねることが必要だ。「日本一」という「明快な目標」こそがそんな原動力となると思うのだが…。





# 第16回 とやまファン倶楽部 会員交流会

# TOYAMA FAN CLUB

会員と富山県及び会員相互の情報交流の場である「とやまファン倶楽部会員交流会」が7月21日(木)にホテルフロラシオン青山(東京)で160余名の会員の皆様の参加のもと盛大に開催されました。会場内では、新たに会員となられた方々を紹介したほか、「夏マグロ」や「シロエビ」をはじめ富山の新鮮な食材を使った料理や地酒を用意し、会員の皆様に富山の味を堪能していただきながら、示唆に富んだご助言ご提案を多くいただきました。

開会挨拶



石井知事(財団理事長)

開会挨拶



川田代表世話人

挨拶



長勢衆議院議員

乾杯



広野参議院議員

お礼の言葉



坂田県議会議員



新入会員の皆様紹介①



新入会員の皆様紹介②



いきいき富山館からのお知らせ

第28回の受賞者



名古屋大学大学院法学研究科  
准教授



水島 朋則氏

学術研究部門 (国際法学)

独立行政法人 海洋研究開発機構  
主任研究員



大林 政行氏

学術研究部門 (地球科学)

富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学)  
助教



藤本 和久氏

学術研究部門 (生物有機化学)



ダイイチ株式会社 総務部広報課  
(スケート部)



穂積 雅子氏

スポーツ部門 (スピードスケート)

東京工業大学大学院生命理工学研究科  
准教授



福居 俊昭氏

科学技術部門 (微生物工学)

とやま賞とは

「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で28回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者又は富山県内在住者とし、学術研究、科学技術、文化・芸術及びスポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人又は団体を対象としており、県内外で活躍されている方を表彰し、その活動を奨励しております。

今年度の贈呈式及び記念講演会は、5月25日(水)に富山国際会議場メインホールで行われ、学術研究部門で3名、科学技術部門で1名、スポーツ部門で1名の、計5名の方々が受賞されました。

第28回 贈呈式及び記念講演会

贈呈式

- ◆あいさつ/理事長 石井 隆一
- ◆選考経過報告/選考委員長 金岡 祐一
- ◆「とやま賞」贈呈
- ◆祝辞/富山県議会議長 坂田 光文
- ◆各受賞者の言葉

記念講演会

- ◆講師 北岡 伸一氏  
(東京大学法学部 教授)
- ◆演題 「21世紀の日米中関係」





## 「夢の卵」 育成事業

子どもたちにいろいろな可能性を秘めた夢を数多く持ってもらい、自分の将来について考えてもらうため、将来の夢を書いた作文を募集し、優秀者を各分野の第一人者のもとに派遣する事業です。

今年度は1433作品の応募があり、その中から選ばれた4名の子どもたちに、夏休み期間中、夢に一步近づいてもらうために、短期入門してもらいました。

### 小学生の部

入門  
内容

射水市立太閤山小学校6年  
中川万里花さん

「心の中に元気が伝わる音楽を作る指揮者になりたい」という夢を抱いて井上道義さん(オーケストラ・アンサンブル金沢)に短期入門しました。



入門  
内容

富山市立新庄小学校6年  
内山 滯佳さん

「人に役立つ新たな菌を発見するバイオ技術者になりたい」という夢を抱いて出川洋介さん(筑波大学菅平高原実験センター)に短期入門しました。



### 中学生の部

入門  
内容

片山学園中学校2年  
花房 昌哉さん

「災害に強く環境に優しい土木施設を作る技術者になりたい」という夢を抱いて鎌田泰子さん(神戸大学大学院工学研究科)のもとに短期入門しました。



入門  
内容

黒部市立宇奈月中学校1年  
野崎 友登さん

「宇宙の不思議を解き明かす宇宙飛行士になりたい」という夢を抱いて荒川政彦さん(神戸大学大学院理学研究科)に短期入門しました。





# 会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部紹介～

今年度の会員交流会(7月21日(木)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ(<http://www.t-hito.or.jp>)に掲載させていただいております。「富山県への助言」の一部をご紹介します。



多くの会員の皆様で賑わった会員交流会

先日の津波の被害大変だと思いました。日頃からの対策が大切だと思います。是非津波の対策を。

この度の津波、富山は絶対に起きないでしょうか。起きないとすれば逆に原発事故もなんて言われたらどうします。この際思いもよらない事態の対応等整理しておく必要があると思います。

明治時代より防災に力を入れ、安心・安全な県づくりに努力してきていることを今こそ積極的にPRし、企業誘致を進めてはいかがか。

来年夏に開館予定の「高志の国文学館」には、是非、万葉集が結ぶ「ふるさと富山」と「古都奈良」の強い絆を、今一度、強い絆を意識しながら演出をされますよう期待しております。

富山という土地の積極的なPR、多くの方に「富山」をもっと知ってほしいと思います。

ひとつづくりの施策に協力するため、ふるさと納税を奨励することが第一でしょう。

異文化の導入。

富山の良さにプライドをもつこと。

富山県は山水に恵まれた日本一の景勝県であることをもっと宣伝すべし。歴史的にも人に伝えるべきものが多い。

低産業まちづくりを通じた地域活性化策。

東日本大震災から学ぶこと、環境とのつきあい方。自然豊かな富山県、海の幸、里の幸、山の幸、どれをとっても宝庫です。是非、その大切さを実感し生かす施策をいままで以上をお願いします。

25年の新幹線の開通を楽しみにしております。原発はぜったいにつくらなくて下さい。観光富山が駄目になりますから。

福島の方々に定着して頂けるようなシステムを作れないでしょうか。

首都圏を中心に展開するリージョナルスーパーと連携して季節毎に売り場を作りブランドを訴求する。

北陸新幹線を有効活用し、首都圏との一体化を進めること。

ふるさとを持っていない都会の小学生を対象に、「とやま」でホームステイ制度。小さなファンづくり。

ほとんど変わらないことが不思議なほどですが、この時代変わらずある土地というのはとても信頼と安心感をもつものです。

「新しい富山」の目玉としてエネルギー(電力)改革に期待します。太陽、風力、水力、…自然エネ、再生エネへの技術開発です。

駅近きところに、県立図書館があり、富山の文化を発してほしい。

最近よく観光ツアーで五箇山、瑞龍寺、氷見海岸を取組んだ企画(Tractics)が多くなった。(以前は金沢、能登、永平寺etc県内は通過。宿泊とリピーターの確保に努力を。(旅行会社の企画への営業))

ひとつづくり財団は素晴らしい一歩だと思えます。幼児教育に目をつけられた事は将来が楽しみです。

家庭配置業界の根源的改革を立案、指導、推進してほしい。

日本一の住み良い県と言われながら、何故かスポーツ、芸能、文化活動のレベルが低い様に思われる。もっと力を入れて戴きたい。

## 「ふるさとの歌づくり」協賛金募集!

「富山県ふるさとの歌づくり実行委員会」では、富山県民や県出身者がふるさとを想い、ふるさとへの誇りや愛着を育み、皆で一緒に歌い、心一つにできる「ふるさとの歌づくり」を進めています。

歌詞は公募し、現在、応募のあった469点の作品の中から歌詞の選考を進めるとともに、作曲を久石譲氏に依頼いたしました。完成した歌は、県や学校、企業、県人会等の行事・イベント等で未永く歌い継がれることを期待しています。

このため、企業、個人等の幅広い皆様からのご協力のもと運営してまいりたいと思っておりますので、本趣旨にご賛同いただける皆様のご支援をお願いいたします。



作曲は、  
久石 譲氏に  
決定!

©Kazumi Kurigami

**協賛金** 法人企業、団体等 1口 10,000円  
個人 1口 1,000円  
(何口でも結構です)

**募集期間** 平成24年3月末まで

※詳細については、富山経済同友会HP  
(URL:<http://www.doyukai.org>)をご覧ください。



(問い合わせ先)

富山県ふるさとの歌づくり実行委員会事務局  
(富山経済同友会内 TEL:076-444-0660)

## あなたの応援で富山県を元気に! — 元気とやま応援寄附金 —

「元気とやま応援寄附金(ふるさと納税)」は、富山県に寄附をされると、所得税や住民税が軽減される制度です。

皆さんからいただいた寄附は、「元気とやまの創造」のために大切に活用させていただきます。

ふるさと富山県の人づくり、地域づくりを応援したいという皆さんの思いをカタチにしてみませんか。

### ◇所得税・住民税の軽減例

給与収入700万円で4人家族(夫婦・子ども2人)の方が、3万円寄附されると、所得税と住民税が28,000円軽減され、実質的な負担は2,000円となります。

(問い合わせ先)

富山県税務課 元気とやま応援寄附金担当  
TEL:076-444-3178

富山県HP <http://www.pref.toyama.jp/>  
「元気とやま応援寄附金」をクリックしてください



# TOYAMA FAN CLUB



## 問合先

### ■事務局

財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階

TEL076-444-2000/FAX076-444-2001

E-mail:toyama@t-hito.or.jp <http://www.t-hito.or.jp>

### ■連絡所

富山県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

TEL03-5212-9030/FAX03-5212-9029

富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館3階

TEL06-6445-2811/FAX06-6445-2611

富山県名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階

TEL052-261-4237/FAX052-263-7308